

生誕 100 年 映画女優 原節子

Setsuko Hara Retrospective at Her Centenary

2020年11月17日(火)～12月11日(金)

国立映画アーカイブでは、原節子の生誕100年を記念して、11月17日(火)より約4週間にわたり特集上映を開催いたします。

1935年にデビューしたのち、時勢や年齢に応じて、若い娘や、妻、母といった役を的確に演じつつも、役柄を超え出る存在感で、多くの観客を魅了しつづけた女優・原節子(1920-2015)。本特集は、デビュー間もない初々しい姿が魅力の現存最古の出演作『魂を投げろ』(1935)や、アーノルド・ファンク監督に大抜擢され、国内のみならず海外でも名前が知られることとなった日独合作映画『新しき土』(1937)に始まり、庶民の生活を細やかに表現し、演技の面で新境地を開いた『嫁ぐ日まで』(1940)や、『わが青春に悔なし』(1946)、『晩春』(1949)といった黒澤明、小津安二郎など巨匠監督の代表作、さらに、博打が大好きで夫の衣服まで借金のかたにしてしまう妻を演じたユニークな出演作『ふんどし医者』(1960)など、さまざまな女優・原節子の姿を堪能できるラインナップとなっております。多彩な計23作品(22プログラム)によって原節子の偉大な足跡を振り返るこの機会を、多くの映画ファンの皆さんに周知したく、ご協力賜りますと幸いです。



『晩春』(1949、小津安二郎)

原節子

1920年、神奈川県生まれ。1935年、家計を助けるため横浜の女学校を中退し、義兄で映画監督の熊谷久虎のつてをたどって14歳で日活に入社。同年に『ためらふ勿れ若人よ』(田口哲)でデビューする。1937年、ドイツの名匠アーノルド・ファンクに大抜擢され『新しき土』にヒロインとして出演。理想化された芯の強い日本人女性を熱演し、一躍有名に。海外での公開に伴い、宣伝活動のため欧米を歴訪した。同年に東宝に移籍し、島津保次郎監督作など多くの作品で主演。1947年に東宝を退社しフリーとなった後も、小津安二郎、成瀬巳喜男といった監督と映画史に残る名作を生みだし、娘役から、妻や母親役へと役柄を変えながら、日本映画を代表する大女優として活躍した。最後の出演作となった1962年の『忠臣蔵 花の巻 雪の巻』(稲垣浩)から半世紀以上たった現在に至るまで、国内外を問わず多くの人を魅了し続けている。2015年死去。



『風ふた、び』(1952、豊田四郎)

【本特集に関するお問い合わせ】国立映画アーカイブ(上映室:横田・玉田・森宗)

〒104-0031 東京都中央区京橋3-7-6 MAIL: pr@nfaj.go.jp TEL: 03-3561-0823 FAX: 03-3561-0830

見どころ

デビュー間もない出演作から最後の出演作まで…
フィルモグラフィから厳選した23作品を上映

生誕100年を記念して、原節子の映画人生をスクリーンで振り返る特集プログラムです。映画史上の名作や、再評価すべき秀作も取り上げて、原節子の足跡を辿ります。盲目の少女を演じ、獣のように周囲を警戒する姿が強烈な印象を残す『田園交響楽』や、病弱だが活発な娘をやさしく見守る母親を演じた『ノンちゃん雲に乗る』、戦後の庶民家庭の妻を演じ、喧嘩の最中にお茶漬けをかきこむシーンなどユーモラスかつ躍動感あふれる演技が魅力の『驟雨』など、**若い娘を演じた作品から、母親や、倦怠期を迎えた夫婦の妻を演じた作品まで**、キャリア全般にわたって上映します。デビュー間もないころの熱演が光る一篇や、スターとしての存在感を活かしつつ、確かな演技で好演した戦後のホームドラマの名作など、原節子の時代や作品ごとに変化する魅力に触れる機会になればと願ってやみません。

多彩な役柄とファッション

女学生（『魂を投げろ』）、**時代劇での若い娘**（『河内山宗俊』）、**中国人姉妹の姉**（『阿片戦争』）、**メガネ姿が珍しい探偵助手**（『三本指の男』）、**キャンバスと絵筆を持ち、チェックのシャツがよく似合う似顔絵描き**（『東京の恋人』）など、原節子が演じた多彩な役と、役柄にあわせた制服や和服なども含む多様なファッションも注目です。



『魂を投げろ』(1935、田口哲)



『阿片戦争』(1943、マキノ正博)



『三本指の男』(1947、松田定次)

名監督や名優との協働

黒澤明、小津安二郎、成瀬巳喜男をはじめ、**島津保次郎、千葉泰樹、稲垣浩**などの名監督たちとの協働で生み出された映画史に残る名作の数々を上映。また、**高峰秀子、笠智衆、淡島千景、三船敏郎、森繁久彌**など名優たちとの息の合った掛け合いや、競い合うような名演も必見です。



『白痴』(1951、黒澤明)



『麥秋』(1951、小津安二郎)



『めし』(1951、成瀬巳喜男)

上映作品リスト

22プログラム（全23作品）

	作品名	公開年	監督	原節子の役名
1	魂を投げろ	1935	田口哲	女学生
	いのち 生命の冠 [短縮版]	1936	内田吐夢	有村絢子
2	河内山宗俊	1936	山中貞雄	お浪
3	新しき土 [ドイツ版]	1937	アーノルド・ファンク、伊丹万作	大和光子
4	田園交響楽	1938	山本薩夫	雪子
5	東京の女性	1939	伏水修	君塚節子
6	嫁ぐ日まで	1940	島津保次郎	好子
7	阿片戦争	1943	マキノ正博	愛蘭
8	わが青春に悔なし	1946	黒澤明	八木原幸枝
9	三本指の男	1947	松田定次	白木静子
10	誘惑	1948	吉村公三郎	人見孝子
11	幸福の限界	1948	木村恵吾	高松由岐子
12	晩春	1949	小津安二郎	曾宮紀子
13	白痴	1951	黒澤明	政治家の愛人・那須妙子
14	麥秋	1951	小津安二郎	間宮紀子
15	めし	1951	成瀬巳喜男	三千代
16	風ふた、び	1952	豊田四郎	久松香菜江
17	東京の恋人	1952	千葉泰樹	ユキ
18	ノンちゃん雲に乗る	1955	倉田文人	おかあさん
19	驟雨	1956	成瀬巳喜男	並木文子
20	女であること	1958	川島雄三	佐山市子
21	ふんどし医者	1960	稲垣浩	小山いく
22	忠臣蔵 花の巻 雪の巻	1962	稲垣浩	大石りく

企画概要

生誕100年 映画女優 原節子

会期：2020年11月17日（火）～12月11日（金）※月曜休館

会場：国立映画アーカイブ 長瀬記念ホール OZU [2階]

定員：156名（各回入替制・全席指定席）

お問い合わせ：050-5541-8600（ハローダイヤル）

ホームページ：https://www.nfaj.go.jp/exhibition/hara202010/

前売指定席券（全席指定席・128席）

一般・シニア（65歳以上）・学生の方は前売指定席券をご購入ください。

会場でのチケットの販売はございません。

10月27日（火）10時より、チケットぴあにて全上映回の前売指定席券を販売します。

[Pコード：551-165]

▷一般 520円/高校・大学生・シニア 310円/小・中学生 100円

障害者・キャンパスメンバーズ等券（28席）

障害者ならびに国立映画アーカイブのキャンパスメンバーズを対象に、各日の開館時より1階受付にて発券します。

▷障害者（付添者は原則1名）、キャンパスメンバーズ：無料



【本特集に関するお問い合わせ】国立映画アーカイブ（上映室：横田・玉田・森宗）

〒104-0031 東京都中央区京橋3-7-6 MAIL：pr@nfaj.go.jp TEL：03-3561-0823 FAX：03-3561-0830